



中期経営計画の進捗

2023年12月期第2四半期

決算説明資料より抜粋

2023年9月4日



中期経営計画(2023年度～2025年度)の概要

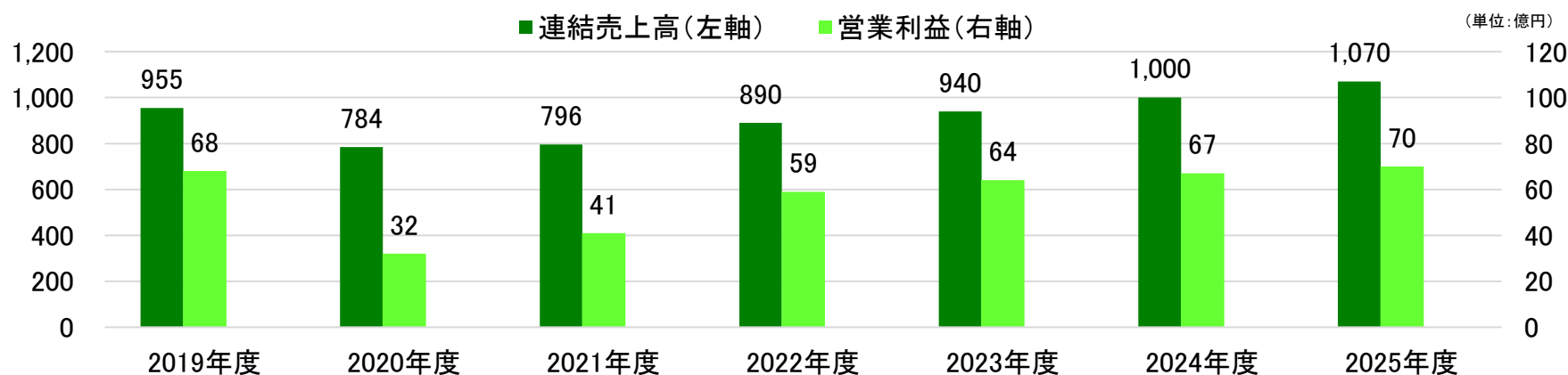
スローガン

進化 - パーパス経営・サステイナブル経営のスタート -

2025年度目標

連結売上高 1,070億円 営業利益 70億円
ROE 8%以上 ROIC 8%以上

新・中期経営計画目標(2023年度-2025年度)



	2022年度実績	2025年度目標		
			2022年度差	2022年度比
食品(*)	250	320	+ 70	28.0%
EC・通販・物流	140	180	+ 40	28.6%
一般流通小売他	500	570	+ 70	14.0%
合計	890	1,070	+ 180	20.2%

	2022年度実績	2025年度目標
ROE	6.4%	8%以上
ROIC	6.4%	8%以上

	2022年度実績	2025年度目標		
			2022年度差	2022年度比
紙袋	262	315	+ 53	20.2%
紙器	222	270	+ 48	21.6%
段ボール	122	150	+ 28	23.0%
化成品	119	145	+ 26	21.8%
その他	162	190	+ 28	17.3%
合計	890	1,070	+180	20.2%

* 食品のカテゴリーにはコンビニ・スーパー等の食品用パッケージを含む

食品市場向け成長戦略の進捗

定量目標の進捗

(単位: 億円)

2022年度 実績	2023年度		2025年度 目標
	2Q実績	通期予想	
250	121	280	320

施策の進捗評価

◆食品一次容器の拡販	◎
◆環境負荷低減に貢献する素材・加工の開発、FSC®商品の拡販(FSC® C020517)	◎
◆紙袋・紙器とともに、ラベル／フィルム(軟包装)などとの複合販売	◎
◆得意先の省人化・効率化・自動化に貢献するソリューション提案の推進	○
◆紙器商品のラインアップ拡大	△
◆トレー・モールド容器などへの取り組み	○

進捗状況

◆環境負荷低減に貢献する素材・加工の開発、FSC®商品の拡販(FSC® C020517)

・積極的な営業活動と顧客の環境意識の高まりを背景に販売額増加

(単位: 億円)

食品市場向け販売額	2022年12月期 1-6月	2023年12月期 1-6月	昨年比
FSC商品	17.1	22.7	133%
フォレスト対象商品	1.0	1.4	140%



FSC®認証マーク



ザ・パックフォレスト®
環境基金活動ロゴマーク

◆ラベル／フィルム(軟包装)の拡販

・販売拡大により売上額が昨年比125%に

◆得意先の省人化・効率化・自動化に貢献するソリューション提案の推進

- ・2023年度中に食品用セットアップ新拠点の稼働開始
- ・自社提案による得意先拠点内での自動化設備稼働開始、販売拡大へ期待
- ・新規提案活動も全国で積極的に展開

◆紙製トレー・モールド容器などへの取り組み

- ・紙製トレー生産能力増強 2023年6月時点で2022年12月比で約10%増強
- ・各種紙製トレーの生産性向上に向けた取り組み
- ・食品一次容器全体の販売増加



▲食品用トレー

EC／通販市場／物流業界向け成長戦略の進捗

定量目標の進捗

(単位:億円)

2022年度 実績	2023年度		2025年度 目標
	2Q実績	通期予想	
140	70	150	180

施策の進捗評価

◆得意先の輸送効率向上に貢献できる宅配袋の販売強化	○
◆得意先での省人化に貢献できる提案販売の強化 ・作業時間短縮が可能な商品設計提案 ・作業の自動化を図るソリューション提案	◎
◆自動梱包向けの素材・加工の開発、および拡販	○
◆重量物対応の強化段ボールのさらなる拡販	○

進捗状況

- ◆得意先の輸送効率向上に貢献できる宅配袋の販売強化
 - ・生産能力増強 2024年上半期に機械増設予定
 - ・段ボールに加え、宅配袋の拡販に注力
- ◆得意先での省人化に貢献できる提案販売の強化
 - ・作業の自動化、作業時間短縮を目指す提案が増加
- ◆自動梱包機向け素材・加工の開発、および拡販
 - ・作業自動化・減量・脱プラ・幅広い商品に対応、という課題に対して機械の改良・素材や加工の開発が順調に進捗

紙製配送袋 自動包装機



仕上がりイメージ



- ◆重量物対応の強化段ボールのさらなる拡販
 - ・需要鈍化、原材料価格上昇により競争激化の中、設計力を活かした提案という強味を活かして販売に注力

(単位:億円)

	2022年12月期 第2四半期	2023年12月期 第2四半期
重量物対応の強化 段ボール販売実績	5.2	5.4

強化段ボール 販売事例



一般流通小売市場、他市場向け成長戦略の進捗

定量目標の進捗

(単位:億円)

2022年度 実績	2023年度		2025年度 目標
	2Q実績	通期予想	
500	258	540	570

施策の進捗評価

◆紙袋シェアの拡大、および紙化を推進する更なる提案販売	◎
◆商品の販売に加え、組み立て・セットアップ業務との複合販売	△
◆ASEANにおける販路の開拓	○
◆3R(Recycle Reuse Reduce)に合致した商品販売 ・環境紙 アップサイクル素材 FSC®原紙の拡販 ・エコバッグ モノマテリアル商品の拡販 ・再生素材100%のオリジナル原紙・フィルムの開発	○
◆お客様とともに社会貢献を推進 ・環境対応商品の販売額の一部をNPOを通じて「ザ・パックフォレスト環境基金」として森林保全活動に役立てています	◎

進捗状況

◆紙袋シェアの拡大、および紙化を推進する更なる提案販売

- ・原材料値上げの中、仕様変更提案を通して得意先の紙化を推進
- ・販売額では2022年度1-6月との比較で15%伸長(+17.3億円)と成長に貢献

◆ASEANにおける販路の開拓

- ・日系・外資系得意先へのアジア商権の商談が増加【取組み】

- ①アジア地区でのサプライチェーン強化・品質強化
- ②得意先のASEAN事業のサポート体制強化に向けて海外グループ会社(中国・米国)との協業

◆お客様とともに社会貢献を推進

- ・森林保全活動4件実施のうち、2件はお客様との協働が実現
- ・2023年12月期では合計10件の活動、うち6件はお客様との協働を計画
- ・新たな活動地(長野県)での森林保全活動の開始、次年度以降はお客様との協働を検討

【2023年4月に広島県竹原市で行われたフォレスト基金活動】
当社のお客様15名にご参加いただきました



人的資本戦略・財務戦略の進捗

人的資本戦略

多様な人材の確保	◆ キャリア採用の強化 ◆ 女性活躍推進(正社員および管理職比率) ◆ 障がい者雇用の拡大
人材育成	◆ 研修制度の充実 ◆ 自発的なスキルアップおよびリスキリング支援
人員配置の適正化	◆ タレントマネジメントシステムの有効活用 ◆ 採用機会の拡大(リファラル・カムバック採用)
働く環境の整備	◆ 多様な勤務形態と制度の充実 ◆ ウェルビーイング(健康経営の推進)
従業員エンゲージメントの最大化	◆ 適正な賃金体系、福利厚生の充実化 ◆ 持株会への加入による経営参画意識の向上 ◆ 社員の交流とコミュニケーションの活性化 ◆ エンゲージメントサーベイの実施

進捗状況

◆多様な人材の確保

- ・キャリア採用 2022年度23名 2023年 1-6月 29名
- ・リファラル・カムバック採用 2023年 1-6月 8名

◆研修制度の充実

- ・全役員・全社員(700名)向けDX研修の開始

◆働く環境整備・従業員エンゲージメントの最大化

- ・テレワークを平時にも導入できるよう、規程の改定
- ・男性の出産育児休暇の取得推進
- ・ベースアップを含む賃上げの実施

財務戦略

成長投資	◆ 成長の為の投資へ優先的に資金を配分 ①設備投資 ②新規事業への投資 ③人的投資 ④システム刷新への投資 ⑤研究開発
株主還元	◆ 配当性向30%以上を維持 ◆ 機動的な自社株買い

キャッシュアウト計画

設備投資	紙器製造能力増強	20億円
	紙袋製造能力増強	30億円
計65億円	合理化・省人化	11億円
	省エネ・省資源	2億円
	その他	2億円
戦略投資	M&A	100億円
	基幹システム刷新	20億円
計140億円	人的投資	20億円

進捗状況

◆設備投資

- ・計画通りに推移、下半期も予定に変更無し

(単位:億円)

	2023年1-6月実績	2023年7-12月予定
紙器製造能力増強	5.2	8.0
紙袋製造能力増強	4.6	5.5
合理化・省人化	0.6	—
省エネ・省資源	0.1	—

◆株主還元

- ・当初計画に基づき、配当性向30%以上を維持し株主への利益還元の充実化を図るべく、2023年12月通期連結業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を修正